

テーマ 「あたらしい」

いっしょにお散歩



くつつあるけ

林 明子//さく
福音館書店
(あかちゃん絵本/057)

歩き始めたばかりの赤ちゃんにとって、「くつ」をはいて歩くというのは新しい体験です。この本は、長年読み継がれてきた絵本です。擬音語が繰り返されるリズムカルな文章と、表情豊かに描かれた「くつ」が魅力的です。ぱたぱた、ぴょんぴょん、とんとんとんと動く「くつ」と一緒に、お散歩に出かけてみてはいかがでしょうか。

はじめての言葉



あ のほん

ひぐち みちこ//作
こぐま社
(あかちゃん絵本/057)

赤ちゃんのあいちゃんは、生まれて3か月目に「あ」という言葉を話しました。「あ」という一言から、お母さんは想像を巡らせますが……。さて、あいちゃんは何と言っているのでしょうか。これからお子さんがどんな言葉を話し始めるのか、もしくは、お子さんが話し始めた頃を思い出しながら、皆さんも一緒に想像してみてください。

新しい夢を育てるためには



月あかり洋裁店

ひろい れいこ//作
よしざわ けいこ//絵
P H P 研究所
(やさしいよみもの/069)

あかりさんは、夢だった洋裁店を開きました。しかし、いろいろおすすめしてもお客様は帰ってしまい注文が入りません。お店を開ける決心をした時、月うさぎが来店し、ハンカチを縫ってほしいという注文が入りました。そして、お客様が来ない理由をあかりさんに話し始め……。自分の願望だけでなく、相手の気持ちを思いやることの大切さに気づかせてくれるお話です。

新たな世界へチャレンジ



ふらいばんじいさん

神沢 利子//作
堀内 誠一//絵
あかね書房
(やさしいよみもの/069)

ふらいばんじいさんは、たまごを焼くのが大好きなお鍋のおじいさんです。ところが、新しいお鍋がやってきて、たまごを焼かせてもらえなくなりました。好きなことができないならと、ふらいばんじいさんは外の世界へ旅に出て、雨風に立ち向かいながら冒険を続けます。自分の知らない世界へ踏み出す勇気を与えてくれるお話です。

もうすぐ、もうすぐ、一年生



みてよ ぴかぴかランドセル

あまん きみこ//文
西巻 茅子//絵
福音館書店
(国内絵本/062)

もうすぐ1年生になるかこちゃん、赤いランドセルを買ってもらいました。誰かに見せたくなり野原を歩くと、きつねの子、うさぎの子、ねずみの子に出会います。「いいなあ」と呟くので、みんなに背負わせてあげようと思いますが、ねずみの子には大きすぎて……。ぴかぴかのランドセルを手に入れたお子さんにいかがでしょうか。

このベンチ、効き目がないのかなあ



まほうのともだちベンチ

ウェンディ・メドゥール//ぶん
ダニエル・イグナス//え
やまもと みき//やく
化学同人
(海外絵本/063)

新しいおうちに引っ越してきた、ティリーと犬のシャドウ。2人は仲良しですが、ティリーが新しく通う学校にシャドウは一緒に行けません。ひとりぼっちの学校でそわそわしていると、「ともだちベンチを試してごらん」と先生が言いました。新しい環境でどうしたら友達ができるのかを、「ともだちベンチ」は優しく教えてくれます。

3つの言葉で楽しめます



カンナマルクールクの神

野原 正子//伝承 山本 史//絵
下地 賀代子//ことばの解説
藤田 Round 幸世、Rick Round//英訳
ひつじ書房
(国内のむかしばなし絵本/060)

多良間島という島に、美しい女の子が生まれました。その美しさは、周りの人たちが何も手につかなくなるほど。事態を重く見た姉は、一計を案じますが……。日本語、英語、そして今世紀の終わりまでに無くなる可能性がある「消滅危機言語」の琉球諸語で語られる、一味違った昔話はいかがでしょう。

これも必要、あれも必要!?

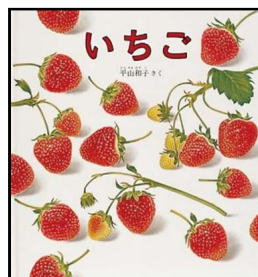


プッチェットのぼうし

中脇 初枝//再話
アヤ井 アキコ//絵
あすなろ書房
(海外のむかしばなし絵本/061)

帽子をなくしてしまったプッチェットは、帽子を拾った男の子・チョケットに返してくれるようお願いします。ところが、「パンをくれなきゃ、帽子はあげない」と言われてしまい……。大事な帽子を返してもらうために、プッチェットは東奔西走します。ページをめくる度に積みあがる言葉のリズムが、小気味いい一冊です。

いちごの成長を絵本で観察しよう



いちご

平山 和子//さく
福音館書店
(知識絵本/009)

いちごは、どのようにしてあの可愛い実をつけるのでしょうか。一般的に3月～4月が旬のいちごは、寒い季節から実になる準備をしています。雪に埋もれた苗が蕾をつけ、花が咲き、真っ赤ないちごになるまでが瑞々しく描かれています。新しい季節の訪れを、いちごの成長と一緒に見つめることができるおすすめの一冊です。

学校に行くのが不安な子へ



はじめてのがっこう

フルール・ウリー//作
石津 ちひろ//訳
バイインターナショナル
(テーマ別絵本/015)

これから新しい生活が始まるのが不安な子に何て声をかければいいのか、大人にも難しい問題かもしれません。この絵本を読んで、何が不安なのか考えることから始めませんか。お友達ができるか、怒られたりしないかと、怖い夢を見た子ぐまに母ぐまは優しく声をかけます。くまの親子と一緒に、楽しい園生活・学校生活を想像してみてください。

ブックスタートを実施しています!

ブックスタートとは、3～4か月児健診の機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。抱っここのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを「すべての赤ちゃん」にお届けします。多賀城市では令和4年度からスタートしました。

絵本は赤ちゃんや保護者の方が好きなときに開いて、親子のふれあいや絵本を通じてのコミュニケーションを楽しんでいただきたいです。

※多賀城市のブックスタート事業には、東北電機製造株式会社様のご協力をいただいております。



『うさちゃんマーク』の本について

キッズライブラリーには、赤ちゃんや小さいお子様に おすすめの絵本があります。絵本には2種類の“うさちゃんマーク”がついています。ぜひ、お子様とご一緒にお読みください。



あかちゃんと一緒に はじめて読む絵本



たくさんのお子もたちに愛され、読みつがれた33冊の絵本